

美藤 和広 議員

市民の会



働き方

三田の地の利を活かし、テレワークで企業誘致

議員 コロナ禍で進んだテレワーク。大都市近郊に位置する三田市は、高速通信と移動も可能なテレワークを活かした企業誘致を進めては。

市 三田ブランドで、時代に即した企業誘致に取り組む

交通アクセスの利便性に加え、教育環境や自然環境で、あらゆる世代にとって住み・働きやすいまちの魅力ブランドとして発信する。駅周辺のまちづくりや空き家・空き店舗の利活用など、さまざまな働き方を推進するテレワーク機能を備えた拠点づくりに取り組み、企業誘致を促進する。(森市長)

他の質問 ● 新型コロナウイルス感染症対策から見える課題について ● ネットワーク社会への移行と課題について

國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団



学校

学校給食に三田牛を取り入れることについて

議員 新型コロナウイルス感染症の影響で、三田牛の需要が落ち、生産者は苦境の中にある。国、県は消費拡大を促すため、学校給食に地元産肉を取り入れる自治体へ支援策を出している。三田肉の給食献立を復活させることはできないか。

市 県制度を活用し、提供できるよう準備を進める

今回、県産和牛肉の消費拡大や生産者の経営支援を図るため「県産和牛肉給食提供事業」が創設された。この制度を活用し、給食に三田肉を取り入れることで、子ども達に故郷の魅力を知ってもらう機会にしたい。(松下学校教育部長)

他の質問 ● 三田市地域防災計画及び避難所運営マニュアルの見直しについて ● 精神障害者への交通費助成について

松岡 信生 議員

公明党



まちづくり

本市の重要課題「フラワータウン」の再生・活性化を!

議員 市は7月から副市長を2人体制で強化し、ニュータウン再生等の課題に着手。度重ね主張してきた重要課題である高齢者や子育て世代にとって住み良いまちの再構築が不可欠。新たな集合住宅建設等を含むビジョン策定を検討すべき。

市 「選ばれるまち」を目指し、新たなビジョンを策定!

当該地域の諸課題は喫緊の課題であり、再生に向け魅力を持った「選ばれるまち」の創出を目指す。提案の新たな集合住宅の可能性等も含め、子育て世代など多様な生活ニーズの対応に繋がるビジョンを検討する。(森市長)

他の質問 ● 新型コロナウイルス感染対策及び「新たな日常」に関する取り組みについて

田中 一良 議員

新政みらい



教育

GIGAスクール構想の積極的な推進を

議員 今後、全小中学生にタブレットを配備し、AI(人工知能)教材や協働学習などを駆使し誰一人取り残すことのない教育と教職員の校務効率化が進み、教育の大変革が起こると考える。積極的な活用を願う。

市 構想の趣旨に基づき全力で取り組みを進める

教職員にはICT環境を生かした学習を企画・立案・実行していくコーディネート力と、新しい時代の学びに向かう自覚が必要。教職員の意識改革と合わせ、資質向上を図っていく。(鹿嶽教育長)

他の質問 ● 新型コロナウイルス感染症の非常事態宣言の発出による在宅勤務について



\*GIGAスクール構想:児童・生徒1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、誰一人取り残すことなく、個別に最適化された学びを実現させる構想。

白井 和弥 議員

盟政会



農業

畜産クラスター協議会をたちあげては

議員 協議会をたちあげることにより、畜産業の振興についての協議や、補助事業活用による機械化が推進され、高齢畜産農家の事業継続や、若手畜産農家の規模拡大などが期待できることから、三田の畜産振興に必要だと考えるが。

市 課題を整理する研究会をスタートさせる

畜産農家の経営発展に対する意向調査を進め、関係者で三田市の畜産農業の将来像を話し合い、課題を整理する研究会をスタートさせ、協議会のあり方等についての意見交換の場を持つことから始めたい。(入江副市長)

他の質問 ● 山田ダムの洪水対策への活用について



\*畜産クラスター:畜産農家や流通加工業者などの地域関係者が連携し、地域の収益性を高め、生産基盤の強化を図る体制

小杉 崇浩 議員

無党派



市民活動

新型コロナウイルス感染症対策に係わる市民活動の支援を

議員 市民活動の果たす役割はウィズコロナの時代においてますます重要になると考える。活動の休止や縮小を余儀なくされていることを踏まえ、3密回避に必要な対策や困難に直面している人たちへの支援活動などの積極的な支援を。

市 ウィズコロナに応じた市民協働モデルを構築

感染予防対策に関する新たな負担に配慮した柔軟な対応を行うとともに、市民活動団体の意見も聞きながら、市と共に多様な人々が助け合う新たな市民協働モデルを構築していく。(森市長)

他の質問 ● 地域循環型経済の確立に向けて

北本 節代 議員

新政みらい



学校

暑い時期に登下校する子どもへの熱中症対策は

議員 夏休みの短縮や感染症対策でマスク着用など例年以上に熱中症のリスクが高まっている。登下校に水にひたすだけで冷感が長時間続くクールタオルを導入しては。

市 子どもたちの安全を守ることを第一に検討

登下校においては、厳しい暑さによる熱中症の危険性もあるため非常に心配している。提案のクールタオルは、効果が期待できることから、子どもたちの安全を守るため全児童生徒への配布について、教育委員会の意見も聞き、適切に判断していく。(森市長)

佐貫 尚子 議員

新政みらい



教育

部活動大会等の代替大会の開催について

議員 新型コロナウイルス感染症の影響を受け長期休業となり、中学3年生にとって最後となる大会の全てが中止となっている。これまで取り組んできた3年間の総仕上げの場として代替大会等を開催しては。

市 代替大会に向け検討、協議を重ねている

部活動は中学生生活で、かけがえのない学びの場であり、運動部、文化部ともに3年間の総仕上げの場が必要であると考えている。中学体育連盟及び中学校校長会で実施に向けて検討、協議を重ね進めている。(森市長)